

1 服装について

気候や体調に合わせて各自で調整し、正しい着用の仕方を身に付けましょう。

①ブレザーについて

- ・腕まくりはしない。
- ・第一ボタンは必ず留める。

②セーター・ベストについて

- ・着用する場合は、学校指定のものを着用する。

③ポロシャツについて

- ・中着は必ず着用する。(フード付き不可)
- ・中着は表に色や柄が透けないようにする。
- ・中着が袖からはみ出さないようにする。
- ・裾はスラックスとスカートの中に入れる。
- ・第一ボタンは閉めなくてもよい。

※儀式的行事の時は、中着は白とする。

④スラックスについて

- ・ベルトを必ず着用する。色は、黒・紺・茶の単色無地。穴は一行のみ。必要以上に穴が開いていたり、派手なバックルがついていたりするなど、飾りがあるものは不可。
- ・ジャージなど中に着用しているものはみ出さないようにする。

⑤スカートについて

- ・丈の長さは、膝が隠れる程度にする。
- ・必要な場合はベルトをつけてもよい。色は、黒・紺・茶の単色無地。飾りのあるものは不可。

⑥靴下について※儀式的行事の時は、くるぶしの隠れる靴下を着用する。

- ・必ず着用する。
- ・色は白・黒・紺の単色無地。
- ・ポイントは可。
- ・くるぶしソックス可。
- ・ストッキング・タイツの色は、黒・ベージュの単色無地。

⑦靴について

- ・運動ができるひも靴。(マジックテープ可)
- ・雨の日に長靴やレインシューズを履いてくることは可。
- ・ハイカット、厚底、革靴、高価な靴は履かない。
- ・上靴は学年ごとに決まった色のものを着用する。(令和7年度 1年→黄 2年→緑 3年→青)
- ・体育館シューズは、決められた体育館シューズを使用する。
- ・下靴、上靴、体育館シューズともに必ず記名をする。

⑧名札について

- ・校内では必ず着用する。

⑨防寒着について

- ・コートは、ステンカラーコート・ダッフルコート・ピーコート・ジャンパー(ダウン可)とする。色は、黒・グレー・紺・茶とする。マークは胸に入るワンポイントのみ。袖のワンライン可。派手、高価でないもの。フード付きは禁止。(ダッフルのみ可)
- ・手袋・マフラー・ネックウォーマーの色の指定はなし。



2 頭髪について

自然な状態で、学習(勉強・運動・実習)の妨げにならないようにし、清潔な状態を保つようにしましょう。

- ①前髪は眉を越えないようにする。前髪を上げる場合は、結んでヘアピンで留めるか、結んで間に通す。
- ②横髪を刈り込むときは耳周りまででとどめる。
- ③横髪は、学習中視界が妨げられる場合は耳にかけるかヘアピンでとめる。
- ④特殊な髪形はしない。(見た目に濃淡が激しい・2ミリ以下の刈り込み・部分的な剃り込み・ライン・アシンメトリーなど)
- ⑤染髪、脱色、おしゃれ目的のパーマはしない。
- ⑥結べる長さになったらヘアゴムで一つか二つに束ねて結ぶ。(耳より下の位置)ヘアゴムの色は、黒・紺・茶の単色無地。
- ⑦横髪を垂らす、ハーフアップ、編み込み、ねじり、お団子、ヘアゴムを複数使うなどのアレンジをした結び方はしない。
- ⑧髪を留める際は、ヘアピン(アメリカピンかカッチン留め)を使用する。色は黒、紺の単色無地。カッチン留めのサイズはアメリカピンと同等とする。

アメリカピン カッチン留め
- ⑨整髪料(ワックス、ヘアオイル等)は使用しない。

3 その他

- ①眉を剃ったり抜いたりしない(眉と眉の間は可)。
- ②化粧(アイプチ、色付きリップ、カラコンなども含む)はしない。
- ③日焼け止め、薬用リップ、ハンドクリーム、汗拭きシートは匂いと色付きのものは使用しない。
- ④ピアスなどのアクセサリやミサンガなどの装飾品は身に付けない。
- ⑤時計やヘアゴムを手首周りに付けない。
- ⑥鞆について
 - ・指定のかばんはないが、学校に必要なものが入り、通学に適したものを使用する。キャリーケースは不可。
 - ・必ず記名をする。
 - ・キーホルダーについては、小さいもの一つまでとする。

学校生活を送る中で、改善したほうが良い点については見直しを図り、その都度アップデートしていきます。